

【会員投稿】

高専時代の思い出

機械工学科卒（2M） 山田 正見

【昭和39年東京オリンピックの思い出】

（その1）昭和39年7月（2年生の時）、第1回九州地区高専大会が鹿児島高専で行われました。私は陸上1500メートルで優勝しましたが、思い出はこれではありません。入場式で鹿児島高専のブラスバンド部員が東京オリンピックマーチを演奏した事です。

その時は、オリンピックマーチなど存在すら知りませんでした。東京オリンピックが開催される3か月前の事です。鹿児島高専の部員の皆さんは、いち早くこの楽譜を手に入れ、練習を重ねこの日に備えたんでしょうね。

10月になり、東京オリンピックが始まり、その晴れ晴れしい入場式見て、鹿児島高専で聞いたあのオリンピックマーチを思い出しました。そして部員の皆さんの先進性と我々を歓迎してくれた事を感じました。遅くなりましたが、鹿児島高専の皆さん、素晴らしい演奏をありがとう。

（その2）東京オリンピックを盛り上げるために、全国で聖火リレーが行われ佐世保市にも聖火がやってきました。我々陸上部は日の丸を手に持ち、五輪マークのランニングシャツを着て参加。聖火ランナーを先頭に、隊列を組んで約500メートル走りました。参加者は全員記念メダルを貰ったのですが、今は紛失し、写真も無く、我が家の子供たちに自慢もできず大変残念です。

【車を借りて怒られた話】

5年生となり、車の免許取りたての頃の話です。家庭教師のバイト先の奥さんに頼んで、車を1日借りることにしました。同級生と2人で長崎方面へ行き、夕方佐世保市内に入った所で突然エンストし、どうやってもエンジンがかかりません。近くの小さな修理屋まで押して行

きバッテリーの比重計を借りチェックしましたが正常です。修理屋の人はバッテリーは元気だと言います。

途方に暮れて、10分後再度トライしたら運良くエンジンがかかり、車を返しに行きました。そして「エンストした」、「バッテリーは問題ない」「何故かエンジンがかかった」などと報告したら、その主人が突然怒りだし「車の批評するとは何事だ、10年早い」とさんざん怒られました。親切心で報告したのになんで怒られるんだろうと思いつつも同級生と二人、黙って聞くだけでした。今でも、その時のご主人の怒りの原因は分かりません。

でもきっと、私の言動がその原因だったのじゃないかと思えます。まず報告の順序として、お礼を言うのが先なのに、いきなり「エンストした」と車の悪口を言ってしまった。更に「バッテリーの比重は正常だ」などと小賢しい事を口走った。帰りが遅いと心配していたご主人の気持ちも考えず、浅はかでした。

今考えると、せめてガソリンを満タンにして、お礼をするとか、そんなことに全く気が回らず、自分の配慮の無さを恥じ入るばかりです。要は、周りを見つめる余裕が無かった、若気の至りでした。ごめんなさい。

卒業してから54年になりました

機械工学科卒（4M） 中尾 彰

1970年に機械工学科を卒業し造船・重機械メーカ（住友重機械工業）に入社。入社して、都内本社でのオリエンテーション教育、愛媛県の新居浜製造所での3か月間の工場実習を終えてから神奈川県浦賀製造所に赴任し化工機設計部門の技術者となりました。

機械設計ですので性能計算、強度計算、部品重量計算、見積書積算など計算用に、配属時に計算尺、そろばん、設計図を書く鉛筆を削る小刀（肥後の守）が支給されました。



MTEホールディングス(株)・宮本電機(株)・テムコン(株)・ロボットテクノス(株)

代表取締役会長 宮本 憲 電気工学科 1期卒業

本社 : 〒859-3153 長崎県佐世保市三川内新町8番地9
TEL : 0956-20-3103 FAX : 0956-20-3104
URL : <http://miyamoto-dennki.co.jp/>

MTEグループは時代のニーズに応じて、幅広い分野での自動化を総合制御システムメーカーとして支えてきました。家電や自動車などの製造ラインから始まり、プラントさらに農業・漁業等の一次産業、エネルギー・環境分野の制御システムの構築へと広がっています。



弊社ホームページへ

職場には四則演算ができる卓上電卓1台だけで、もっぱら計算尺とそろばんを使いました。当時の通信手段は固定電話でメールなどの書類のやり取りは郵送です。1975年頃に2～3万円のポケットサイズの関数電卓が普及し、設計作業はもちろん、見積・積算など日常の作業はずいぶんと楽になりました。

1980年前後にはワープロそしてPCが配備されました。このころは、EXCEL,WORDでなくLOTUSと一太郎でした。ノート型PCは2000年代になってからで、このころには各人にPCが支給され、データやメールのやり取りも行うようになり、計算尺とそろばんに代わりました。

仕事では1990年頃まで集じん装置、排ガス処理、排水処理設備、活性炭再生設備などの設計から試運転を経験した後、58歳で子会社に移るまでは都市ごみ焼却施設のPJを担当しました。2015年に65歳で退職した後に、2018年68歳からパート契約での在宅勤務と現地への出張でごみ処理施設基幹改良工事の設計・施工監理の支援業務をしています。この支援業務ではPCとスマホそしてWifi通信は欠かせません。今はAIやZOOMもあり、高専を卒業したころはもちろん、数年前でもこの便利さは想像できませんでした。5年後、10年後にはさらに便利で快適な世の中になっているでしょう。その時代を健康で迎え、楽しみたいものです。

健康寿命は男性が73歳、女性が75歳。

外出して趣味を楽しみ、人のおしゃべりなどでストレスを解消することが健康寿命を延ばすために大切なことのようにです。70歳以上の卒業生の皆さんも同窓会や全国大会の応援に出かけ、昔話や近況のこと、健康で長生きの話など旧交を温めませんか？

日本半導体復活への期待と佐世保高専への想い

電気工学科卒（4E） *大島 傳

2022年名古屋での同窓会で、中島校長先生から高専による半導体技術者教育体制が整備され、講座を開始したとの説明を頂き、感慨深く、嬉しく思いました。半導体産業の荒波の中で半導体技術者として日々を送ったからです。現役を退いて10年近く経ちました。技術者生活を通して感じていた母校での想い出等の一端を記します。

◎なにはさておき英語は重要

入学当時、初代大脇校長先生の講話で強調されたことが強烈に印象に残っています。副読本のShane、DNAに関する単行本・・・厳しくも優しくT先生。電子回路のN先生は、英語の原本を手書きガリ版刷で毎回講義時に配布されていました。入社間もない頃、勤務先（川崎）に来訪頂いた事が懐かしいです。

取説・文献の翻訳、海外出張、プレゼン（共同開発、プラント、SEMI発表等）・・・英語漬けの日々も多々ありました。学生時代からの赤表紙の英語辞書（CROWN）はクタクタ。

◎高専の数学は難しかった

DSP技術を使ったテスト開発を担当。フーリエ変換、畳み込み積分等に苦しみ、開発に難航しました。数式の基本的な意味が理解できていないことを痛感。

◎実験報告書作成・提出は多かった

限られた時間内に実験データを取り、結果として纏める訓練の場としてとても良かったと思っています。

◎5年間で学んだことは自分の引出しに整理しておこう
電力工学のK先生は、最後の講義でこの主旨のお話をされた。学生生活のある種の達成感を味わった事が懐かしい。

日本半導体が、基幹産業の一つとして復活することを願っています。高専の役割が益々注目されています。併せて、高専のステータス・知名度の向上に繋がると信じています。

母校ホームページで、我故郷（大村）で出前授業が開催された事が載っていた。私は、小学6年生（1961年）の時、「1962年、佐世保に九州唯一の国立高等専門学校が開校する」とのラジオのニュースを聞きました。

それから60年を超える歳月が流れました。想い出は尽きません。校長先生はじめ教職員の皆様、在校生の皆様、卒業生の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りしています。

*東芝、日本マイクロニクスに勤務、45年間、半導体テスト技術・装置開発に携わる。

漕艇部サヨナラ・イベント

—黎明期の仲間と思い出—

電気工学科卒（8E）川下 智恵

古希を迎え悠々自適にしていたら突然1通のメールが届いた。漕艇部顧問松尾教授からの「漕艇部サヨナラ・イベントの案内」で、2023年10月7日を以て漕艇部を解散する、漕艇部顧問の引き受け手がなく、止むを得ない決断をしたとの連絡だった。これをきっかけに「我がボート青春」を思い出すことにした。

1969年、佐世保高専に入学し、中学時代に経験したことのない新鮮なスポーツに惹かれ、創設3年目のボート同好会に入った。18名の新生が入るほど人気があった。当時は全寮制だったので朝のラジオ体操後に練習し、放課後も夕食までたっぷり練習に明け暮れた。ボート同好会にはナックルフォア艇は2艇しかなく、約35名の部員は2班に分かれて、海トレと陸トレを行なった。海トレではボートを漕ぎ爽快だったが、陸トレは中長距離走と筋トレ等が中心で結構ハードワークだった。

2年生の時、ボート同好会顧問の永末教授の計らいで、大村園芸高校との練習試合に挑んだ。相手は国体のナックルフォアの高校女子チャンピオンであるとは言え、佐世保高専の男子力を見せようと意気軒高で試合に臨んだが、結果は無惨にも完敗だった。この敗戦を糧に練習を見直して強化し、同年の高校総体ナックルフォア男子の部新人戦で決勝4位入賞を果たした。4年生の時は、長崎県一般男子で3位入賞、九州レガッタでも3位入賞と良い成績を残したが、全てオープン参加で公式記録は残っていない。九州レガッタ開催地の鹿児島鹿屋湖まで8期生クルー5人一緒に昼夜兼行でドライブしたのは良い思い出である。我々8期生は、1974年3月に卒業したが、1974年夏にボート同好会から漕艇部へ昇格したと吉報が届いた。

上記の1969年から1974年までの思い出を「黎明期の仲間と思い出」と題して、漕艇部サヨナラ・イベントで話した。続いて「発展期」を森脇久夫氏（機械17）、さらに、「飛躍期」を山村浩之氏（電気37）が話し漕艇部56年の栄枯盛衰の歴史が繋がった。総勢130名の漕艇部の仲間たちと共に、漕艇部活動に終止符を打つ千載一遇の好機を得たことに心から感謝している。“Thank you for Rowing”



ボート同好会8期生クルー

【現役学生からの今年度の部活動報告】

女子バレーボール部 物質工学科5年 城本 陽風子

私達女子バレーボール部は、昨年8月に行われた九州高専大会で優勝し、全国大会出場を果たしました。後援会の皆様にご支援いただき、全国大会の舞台上でプレー出来たこと、深く感謝いたします。一昨年はコロナにより九州大会を辞退することとなり悔しい思いをしたので、大会に参加できることがどれほど幸せなことか、改めて実感しました。全国という舞台は、今後の活動だけでなく、部員一人ひとりに大きな意味をもたらす貴重な経験であったと感じます。部活動を通じて得た多くの学び

 **chukoh** 中興化成工業株式会社

1963年松浦市で創業以来、ふっ素樹脂を主力とした高機能樹脂の総合加工メーカーとして歩んできました。佐世保高専卒業生は18人が在籍し、お客様の課題にソリューションを提供するために国内外で活躍しています。

F1 松浦工場：長崎県松浦市今福町北免 1642-12 TEL：0956-73-8111（代表）

取締役 執行役員 開発本部長
大久保 篤
機械工学科18期卒業



を、これからの活躍の場で生かしていきたいです。最後になりましたが、ご指導頂いた先生方をはじめバレー部のみんな、そしてご支援いただいた方々、本当にありがとうございました。



男子バスケットボール部 物質工学科4年 土肥 航輝

15年ぶり九州高専大会優勝。これは日々の先生・コーチの指導によるもの、そして選手全員が日頃から高いレベルを求めハードにプレーしてきた結果だと思えます。この一年決して楽なことばかりではなかったものの、バスケットを楽しみ、仲間と助け合い、最後にチームみんなが優勝を手にすることができて良かったと思えます。現在メンバーの多くは下級生です。優勝を経験した選手たちが連覇を。そして強い佐世保高専男子バスケ部を築いていけるよう頑張っていきます。



剣道部

専攻科1年 黒岩 和貴

私たち剣道部は、令和4年度全国高等専門学校体育大会剣道競技において準優勝を収めることができました。その功績が認められ、この度、令和4年度長崎県スポーツ教育長顕彰のスポーツ奨励顕彰受賞者として顕彰を受けました。この顕彰は、スポーツ活動の奨励と普及・振興を図るため、スポーツ活動・生涯スポーツの各分野で成果をあげ、かつ功績のある個人・団体を讃えるものです。

私たち剣道部は、“楽しむ”ことを一番大切に活動しています。その中で、『全国高専大会優勝』を目標に掲げて稽古を続けてきた成果が、顕彰という形で評価いただけましたこと大変嬉しく思います。ここ数年は、感染症の影響で高専大会の開催が見送られていたことから、モチベーションの維持が難しい時期もありましたが、常に“楽しむ”気持ちを持ち続け、チーム一丸となってコロナ禍を乗り切ることができました。私たちの目標は『全国高専大会優勝』ですので、今回の結果に慢心せず、目標に到達できるよう今後も稽古に励んで参ります。

末筆ながら、日頃よりご指導いただく顧問の先生方、大会出場に際し多くのご協力をいただいたOBの皆様、応援をいただいた皆様に深く感謝申し上げます。



ロボコンプロジェクト 機械工学科4年 近藤 智哉

今年度の大会は高いところにあるフルーツを収穫するという競技で、10月に行われた九州沖縄地区大会では、Aチーム「Beetle Breeder」がセメダイン様より『特別賞』をいただきました。また、Bチーム「響嵐」が風でフルーツを浮かせて落とすアイデアを披露し『アイデア賞』とデンソー様より『特別賞』をいただき、全国大会に出場することができました。

全国大会は11月に国技館で行われました。惜しくも一回戦敗退となりましたが、風で落とすアイデアが会場を沸かせ、『アイデア倒れ賞』を受賞することができました。応援していただいた皆様、ありがとうございました。



サヨナラ・イベントについて (ボート部廃部)

機械工学科3年 白井 勇惺

昨年10月7日、佐世保高専の大講義室にて、歴代ボート部員と顧問の皆さんが集まり「サヨナラ・イベント」が行われた。「サヨナラ・イベント」とは今年で廃部になってしまうボート部の最後の行事で、大講義室での佐世保高専ボート部の歴史の振り返り、日宇川での最後の乗艇および歴代の部員と現役部員のレース、JAさせほホールでの立食パーティーの3部構成だった。また、デザインを歴代ボート部部員全員で考えた記念プレートを八角堂に取り付けた。

このイベントには前顧問だった山邊先生や60年近い歴史を持つボート部の3期生の方など多くの方が集まり、最終的に参加人数は130人を超える大きなイベント

となった。参加した方の中には海外に在住しており遠隔で参加された方もいらっしゃった。

2部では、大先輩の方々がブランクを感じさせない綺麗なフォームでの漕ぎを披露して頂いた。レースでは互いに全力での漕ぎ合い、悔いなく船とのお別れができた。

このサヨナライベントをもってボート部は廃部となるが、大会に向け、部員全員で乗り越えた辛く、苦しい練習や、ボート部の大切な仲間たちを忘れず、それぞれの目標に向かって頑張っていきたいと思う。

【同窓生の書籍出版のお知らせ】

今般、次のお二方が書籍を出版されましたのでお知らせいたします。詳しい内容は、同窓会ホームページに掲載されていますのでご参照下さい。

◎著者 大坂 弘美 氏 (9M)

「ものづくり技術者に捧げる 対の思考法」

～技と術の違いとは～

購入先 アマゾン 定価 1,760円 (税込)

佐世保高専同窓会>交流掲示板>(同窓生)書籍出版のお知らせ

◎著者 加椎 玲二 氏 (11M)

「高専は地球を救う」

初めての「社会実装教育=テクノロジー×アントレプレナーシップ」の解説書

購入先 書店 アマゾン 定価 1,980円 (税込)

佐世保高専同窓会>本部・支部便り>東京支部>「高専は地球を救う」本の出版



【同窓会への寄付金のお願い】

同窓活動は皆様の寄付金にて運営されております。
同窓会HPの充実による会報電子化、会員同士の情報一元化等には皆様の寄付金が後押しとなります。
ご協力をよろしくお願い申し上げます。
寄付金振込先（寄付金額：一口5,000円）
◎郵便振替（口座番号：01810-8-2985）
加入者名：佐世保工業高等専門学校 同窓会
※振込用紙を同封しております
◎銀行口座（十八親和銀行・日宇支店）
（普）1272703：佐世保高専同窓会事務局
（注）氏名+期+科（例：*サシタウ9M）で振り込み願います。

【今年度の各支部及び学校の行事予定】

- ◎関西支部の集い
令和6年6月1日（土）17:00～19:00
鳥よし茶屋（大阪市北区曾根崎2-1-9）
会費7,000円（50期生以降は5,000円）
- ◎東京支部「東京沖新懇親会」
令和6年6月15日（土）13:30～
ホテルモントレ半蔵門（東京都千代田区）
会費10,000円（56期～58期生は5,000円）
- ◎佐世保支部の集い
令和6年7月6日（土）17:00～
セントラルホテル佐世保 会費5,500円
- ◎長崎支部会
令和6年10月19日（土）17:00～
サンプリエール長崎（AM喜々津CCゴルフコンペ）
- ◎高専祭（本校にて）
令和6年11月9日（土）～10日（日）

【編集後記】

ようやくコロナ禍も落ち着き、以前のような日常に戻って卒業式や入社式、桜花爛漫の花見などでもできるようにになりました。コロナ対応に端を発したりリモート会議やテレワークなどによって新しい世の中の仕組みに変化した部分もあり、同窓会においてもインターネット総会が取り入れられ、より多くの方が参加できるようになりました。
また、同窓会では在校生支援及びイベント管理システムを利用した会員相互の連携強化が進められており、今回の会報も有益な情報交換の一助となることを願っています。
今年の3月末で中島校長先生が退任され、下田校長先生が着任されました。中島校長先生は3年の在任中に半導体人材育成において、佐世保高専をフロントランナーに育て上げていただきました。有難うございました。
今後は、新しく着任された下田校長先生のもとで、各学科のデジタル技術教育が一層推進されていくものと思いますので、同窓会としても学校側とのさらなる連携を深めていくことが大切になってくるものと思われます。
(9M 高木 辰治)

【佐世保高専同窓会 会報印刷及び発送委託業者】

小野高速印刷株式会社
熊本営業所：〒862-0951 熊本市上水前寺町1-12-12
電話：0120-58-3002 Fax：0120-81-2299

誌名 沖新（佐世保高専同窓会会報）
発行日 2024年5月
発行 国立佐世保工業高等専門学校
同窓会編集委員会
〒857-1193 佐世保市沖新町1-1
Tel & Fax 0956-34-8463
ホームページ <http://www.sasebo.ac.jp>



株式会社 亀山電機
Kameyama Electric Co., Ltd.

本社 : 〒852-8002 長崎市弁天町3番16号
佐世保事業所 : 〒859-3226 佐世保市崎岡町2720-8
佐世保情報産業プラザ第1棟1F
TEL : 095-864-7000 FAX : 095-864-7001

卒業生
代表取締役 北口 功幸
機械工学科 20期 卒業

Industrial Automation・Office Automation・Webの3つの事業を通じて、日本の西の果て「長崎」から世界を攻めている企業です！
自動化（オートメーション）の最適な技術を提供いたします。



21E 栗田 浩一
27E 大田 義之
44M 柴山 晃一
57S 長尾 舞琴